

# 令和元年度第3回入退院時支援部会を開催しました



2019年12月11日（水）上越市福祉交流プラザ

今回は今年度最後の部会として、今年度及び3年間のまとめを行いました。また、10月に実施した精神科医療機関からの情報交換結果から、今後の方向性について協議しました。

## 【第3回部会協議内容】

### 1. 精神科医療機関との情報交換結果から

精神科医療機関から現状を聞く中で、より個別性が高く一般化が難しい事、退院が多くない事もわかり、一般の医療機関と一本化して考えることは難しいのではないかという意見が多かったです。

現状ではケアマネジャーが退院時に連携する機会は少ないのですが、まずはその件数を明確化することになりました。

ケアマネジャーは精神疾患について学ぶ機会を求めている事から、既存の「ケアマネジャーと訪問看護師との勉強会」に精神科医療機関が加わるというのも一つの方法ではないかという提案もありました。

### 2. 今年度の活動のまとめと次年度に向けて協議

今年度部会で実施したアンケート結果から、ケアマネジャーと病院の連携ガイドラインについては、引き続き、周知・活用が大事という意見になりました。

部会として「地域連携連絡票」や「入退院時の連携フロー」を上越地区の共通ルールとして普及啓発していく取組が必要です。

具体的な取組としては「地域連携連絡票」の活用が定着するよう、直江津地区包括エリアと部会が合同で実施した研修会を、上越市の全地区に展開させることが重要です。

その際、包括と主任ケアマネジャーを対象とするのか、個々のケアマネジャーを対象とするのか、また、包括エリアごとに毎年実施できるのか、上越市・妙高市の方針も踏まえて協議する必要があります。

妙高市は今年度、主任ケアマネジャー同士の横の連携を作るための取組を始めました。今後上越市・妙高市ともにまずは主任ケアマネジャー同士の横の連携が強化されていくと良いという意見がありました。

また訪問看護チェックリストについては、今年度医療機関宛に実施したアンケートの効果もあり、以前より認知度が高まりましたが、どこまで使われているかは、まだ不明な点も多いです。

この課題については当部会ではなく、訪問看護ステーション連絡会議に引き継ぐのが良いのではないかという提案があり、3月の訪問看護協議会に提案されることになりました。

### 3. 次年度に向けての提案

・入退院時の連携フローについては、引き続き周知し、研修会を実施していく。

・啓発活動や連携強化等に向け、主任ケアマネジャーと連携していく。

・上越市・妙高市それぞれの方針を確認し、各包括の現状の把握等課題を整理し、取組を進める。